



審査員コメント



磯和 啓雄

三井住友フィナンシャルグループ

執行役員兼 グループチーフ・デジタル・イノベーション・オフィサー

日本バーカライジングさまは、Sustanaを導入することで、従来Excelに手入力して管理していたさまざまなデータを、一括管理することに成功しました。Sustanaには利用開始前も含めた過去数年分の活動量データを入力いただいています。さらに登録ユーザー数も多く、現在は40か所以上の製造・営業拠点や関連会社の担当者に活用いただいていることや、Sustanaで管理したデータを用いて第三者検証にも対応予定である等、さまざまな場面でSustanaを社内ODXに積極的にご活用いただいていることから、今回「Connect Internal賞」に選定させていただきました。



山田 幸美

株式会社日本総合研究所

リサーチ・コンサルティング部門 環境・エネルギー・資源戦略グループ マネジャー

日本バーカライジングさまは、以前より省エネ法対応としてExcelを用いてエネルギー使用量を把握、CO2排出量は年度終了後に別に算定されていました。Sustana導入により、エネルギー使用量の集計ミスの防止やデータの一元管理、CO2排出量を適宜モニタリングすることが可能となったほか、社内関係部署と情報の共有化を実現されています。これにより、CO2排出量の削減活動を積極的に推進する体制が整いました。今後は、国内外グループ会社とデータ連携を進める予定であり、「Connect Internal賞」にふさわしい功績であると考え、選定させていただきました。



茂木 龍哉

株式会社日本能率協会コンサルティング

DX事業本部 本部長 シニア・コンサルタント

化学品製造業におけるCO2排出量算定の課題として、原材料の複雑性や反応プロセス、処理工程の多様性による正確なデータ収集の難しさが挙げられます。そのような現場の中で、日本バーカライジングさまの取組は、登録活動データ種類の多さからも分かるように、社内関係部署を巻き込んだ全社的な活動になっており、データの一元管理、部署間の情報共有の容易性向上等Sustanaの機能を上手に活用しておられます。今後想定される課題としては、製造先や製造工程の変動、そして技術進化にともなう原材料構成の変動等、変化に対応する方法の確立が挙げられます。そのような面においても、Sustanaの機能を更に活用いただき、継続的な活用を期待しています。



「Connect External賞」

株式会社ベネッセホールディングス

サステナビリティー推進部 部長

瀧口 麻代 氏



「Connect Solution賞」

尾タンカー株式会社

取締役

中野 道朗 氏



Sustana ONE PLANET ACTION AWARD事務局

Copyright © Sumitomo Mitsui Banking Corporation. All Rights Reserved.